

2020年度事業及び活動報告

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

1. 事業活動の成果

2020年は、新型コロナウイルスCOVID-19という正体のわからない感染症に翻弄された1年でした。発生の前と後とは、世の中が一変し、介護のあり方も、1から見直す必要にせまられ、コロナウイルスへの対応に明け暮れた厳しい1年でした。

2020年4月、緊急事態宣言が発令され、4/7～5/6の間、自粛生活を送ることとなり、利用者も稼働者もどうなるのか心配する中、厚生労働省より、“介護の現場では通常の業務を推進するよう”方針が示されました。それを受け、たすけあい多摩としての対応策を関係者へお知らせしました。

4/9付 自主事業利用者宛 4/13～5/6原則稼働休止、希望があれば通常通りの稼働も可能とするお知らせ

4/9付 稼働者宛 体温チェックによる自己管理、手指消毒・マスク着用の徹底、提出書類の郵便受けへの投函

4/10付 訪問事業利用者宛 「新型コロナウイルス感染防止に関する対応について」ヘルパーの体温チェック、手指消毒、マスク着用による対応と換気のお願いのお知らせ

4/13～ サ責・事務員の交代制実施

5月25日、緊急事態宣言が全解除され、約2ヶ月に及ぶ自粛生活があけました。しかし、コロナウイルスは消滅することなく、求められたのは“ウイズ・コロナ”下での新しい日常で、『3密を避ける、マスク・手洗い・消毒の徹底、ソーシャル・ディスタンスの確保』という専門家会議の指針でした。介護の真髄は、“寄り添う”ことだと思います。“密の回避”も“ソーシャル・ディスタンス”も、介護と相容れない習慣です。新しい介護のあり方を模索し、“私達がコロナウイルスを持ち込まない！”ことを根本の考えとした新しい介護を確認し、たすけあい多摩の姿勢を会員に周知しました。

6/30付 会員、ボランティアの皆様宛

「ウイズ・コロナの中での活動・稼働について」①ボランティア活動について②稼働について③会員集会・親睦会について④研修について

しかし、これだけでは介護者の感染リスクへの対策が不十分と考え、細心の注意を払っての介護とは具体的にどうなるのか、研修会を企画しました。内容の1つは、ケアネットワークの資料を参考に、実践的に工夫した介護場面毎の留意点を、感染症対策ガイドラインとして学習することです。イラストを取り入れた「ヘルパー手帳➕プラス」を作成し、ヘルパー手帳とともに必携してもらうことにしました。2つ目は、厚生労働省のYou Tubeの中の「あなたと利用者の中でコロナウイルスを 1) もちこまない 2) やりとりしない 3) もちださない」、の3部作を視聴することです。何気ない動作の中にも注意すべきことがあると、動画によって伝わってくるものでした。この2つに加え、消毒作業と使い捨てゴミの始末を、実技研修として取り入れました。

9/26・27 “ウイズ・コロナに対応する稼働とは” 全員必修の研修会、事務所を会場に6回に分けて実施

スタッフの力を結集してたすけあい多摩独自の感染症対策ガイドラインをまとめ上げ、全ヘルパーに伝達でき、適切な対応ができたことと安堵しました。同時にこの研修を機に、マスク・手袋・消毒液に加え、キャップ・シューズカバー・フェイスシールド・使い捨てガウンを必ず携帯するものとし、状況に応じて使用するため、利用者が驚くことのないようお知らせしました。

10/12付 利用者宛「再度のお願い」

冬に入り、感染者数は終息に向かうどころか日々増加していき、再び緊急事態宣言が発令されました。たすけあい多摩では、“介護の仕事は、利用者の日常生活維持のための必要不可欠な活動である”と考え、通常通りの稼働を続けていく旨、お知らせしました。

1/12付 自主利用者宛 継続か否かの希望をとる

この結果、前回のような動揺は起こらず、通常通りの稼働を続けることができました。

コロナ禍によって、昨年度3月に予定されていた会員集会が実施できないまま今期に持ちこされ、緊急事態宣言発令で、まともな開催が見送りとなくなりました。会員の意見で運営していくNPO法人にとって、会員集会が開けないのは抱える問題を先送りすることになります。そこで、アンケートによる会員集会を実施しました。アンケートには、会員1人1人の思いがしっかり綴られ、この思いを生かしていかなければと、気持ちがひきしまりました。コロナ禍の中でも1歩前進できたことは、喜ばしいことでした。

この1年間、事業成績を折りに触れ、ふり返ってきました。

“事業収入が前年同月比で50%以上減少した月があれば、持続化給付金を支給する”、という総務省の施策に該当するか、4月5月の前年比を出してみました。自主事業の4月が44%減、5月は47%減で、半減とはならず、訪問、障害事業にいたっては大きく減少することはありませんでした。

6月には、サービス辞退の影響はほぼ元にもどり、7月には毎日3回の依頼が始まったことで、大きな収入増につながりました。

上半期を終えたところで、事業収入をグラフ化して検討したところコロナ感染症の影響は大きくはないと判断できました。1年を通し、事業収入・収益を見てみると4～5月の落ち込みはあるものの、全体として尻上がりに増加し、たすけあい多摩の底力を感しました。

年度終盤には、サービス提供責任者が退職するため、急きょ後継者を探すことになりましたが、資格をもった会員に引き継いでもらうことができ、本当に助かりました。

医療への応援の声の影で、介護は孤軍奮闘の感がありましたが、かながわ医療・福祉応援基金よりの差し入れや、コロナ禍での稼働に対して、1人5万円の慰労金の支給は、疎外感を払拭し、大きな励みになりました。年間を通して厚労省、県、市から、マスク・手袋・ガウン・消毒液が支給されたことは、背中を押されているようで、前向きに活動する一因ともなりました。

当初より困難が予想された今年度でしたが、会員の1人1人が感染リスクを抱えながらも、強い責任感をもって自身の日常生活を律し、細心の注意を払って活動を続け、信頼を築いてこられたことに深く感謝いたします。加えて、サ責・コーディネーターの攻めの姿勢のおかげで、コロナ禍にありながら、収益を伸ばすことができました。何より素晴らしいことは、1人も感染者を出すことなく、乗り越えられたこと、そして事務所としてゆるがなかったことで

す。心を1つにして困難を乗り越えたことで、より強い絆を結ぶことができたのではないで
しょうか。この絆をこれからも大切に繋いでいきたいと願っています。コロナ禍で、人との触
れ合いが制限される前代未聞の時間が過ぎる中、人は人と触れ合ってこそ“生きる”を感じる
生き物だと実感しました。自分のためだけに生きる虚しさ、人を支え・人に役立っていると思
える幸せをかみしめた1年でした。

2. 事業活動内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①家事援助及び介護援助に関する事業

自主に関する事業

- ・内 容 介護保険事業外の高齢者及び一般家庭への家事一般・保育等に対
し、ヘルパーを派遣
- ・日 時 2020年4月1日～2021年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区とその近隣
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 198名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 337名
(利用者：入会7名 退会12名 現在43名)
- ・稼働時間 年間 1,615時間
- ・事業費支出額 3,285,982円

②訪問介護及び介護予防訪問介護及び第1号訪問事業に関する事業

- ・内 容 訪問介護・介護予防訪問介護及び第1号訪問事業による
ヘルパー派遣
- ・日 時 2020年4月1日～2021年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 404名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 1,172名
- ・時 間 数 年間 9,718時間
- ・事業費支出額 32,196,060円

③障害福祉サービスに関する事業

- ・内 容 居宅介護によるヘルパー派遣事業
- ・日 時 2020年4月1日～2021年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 115名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 61名
- ・時 間 数 年間 801時間
- ・事業費支出額 1,543,175円

④この法人が行う事業に関する相談・研修・啓発に関する活動

(内部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者(名)
9/26, 27 10/26, 28	ウイズコロナに対応 する稼働とは? ～感染症対策 ガイドライン～	研修担当 正副理事長	41
11/14	法令遵守・接遇・実技 (車いすの移動と移乗)	研修担当	25
合計	研修2回開催		66

(外部研修報告)

今年度、ヘルパー向けの研修はコロナ感染防止のため中止にしました

【ボランティア活動】

新型コロナウイルス感染の広がりにより、「多摩川の里」への出入りが制限された為、残念ながら実施することができませんでした。

⑤独居高齢者支援に関する活動(飯室会館わくわく茶話会・ミニデイ津野田)

高齢者に外出する機会を作り、地域のふれあいの場として歓談・昼食・レクリエーションなどをして有意義な時間を共有しました

【飯室会館わくわく茶話会】

活 動 3回 9月 利用者宅訪問、敬老の日お祝いプレゼント贈
11月 会食会開催
12月 手紙と写真送付
(他の月は新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

会 場 生田緑地広場

利用者延べ人数 40名

ボランティア延べ人数 12名

活動費支出額 130,000円(川崎市よりの助成金)

【ミニデイ津野田】

新型コロナウイルス感染の広がりにより、残念ながら実施することができませんでした。